

令和6年度
当初予算案の概要

令和6年2月

上下水道部

目 次

I	令和6年度上下水道部当初予算案の概要	1
II	令和6年度上下水道部当初予算総括表	3
III	令和6年度上下水道部企業会計財務状況	4
IV	令和6年度上下水道部主要事業	5
V	流域下水道事業概要図	6

課名	上下水道総務課
担当者	大島
内線	4310

I 令和6年度上下水道部当初予算案の概要

1 取組の方向

(1) 流域下水道事業

将来にわたって、安全安心で適切な下水道サービスを提供するため、経営実行プラン（R5.10）に基づき、流域関連市町と協力・連携し、ストックマネジメントによる適切な施設更新や、公民連携による維持管理の更なる効率化などに取り組む。

(2) 上下水道事業の広域連携

上下水道事業の経営基盤を強化するため、広島県水道広域連携推進方針（R2.6）や広島県下水道事業広域化・共同化計画（R3.3）に基づき、広域連携による施設の最適化や更なる業務の効率化などに取り組む。

2 令和6年度 of 主な取組

(1) 流域下水道事業

① 経営実行プランの着実な推進

ア スtockマネジメントの推進【一部新規】 2,659百万円

施設の計画的な点検・修繕による施設の長寿命化に取り組んだ上で、健全度を踏まえた改築・更新を実施する。

イ 地震対策の推進【一部新規】 523百万円

大規模地震時においても、下水処理機能を確保するため、処理場内の施設等の補強など、地震対策を実施する。

ウ 新たな管理運営手法の導入【継続】 非予算

事業環境の変化を踏まえ、今後の管理運営の見直し方針を策定し、その実行に向けて、流域関連市町等との調整や必要な準備を進める。

エ 下水道資源の有効活用【新規】 10百万円

各浄化センターにおける未利用地などの資産の活用方策について調査・検討を行い、その方策の具体化に向けた準備を進める。

オ 下水道DXの推進【新規】 58百万円

国等のプラットフォームを活用し、管路情報の一元管理や事業者・住民に対する情報提供を可能とするため、管路情報の電子化を行う。

② 経営実行プラン以外の取組

ア 産業インフラの確保【新規】 153百万円

本郷産業団地へ立地する企業のニーズに応じた下水処理施設の整備を行う。

(2) 上下水道事業の広域連携

① 水道の広域連携

ア 広域化事業（水道施設の再編整備事業）への出資【継続】 305百万円

施設の広域化による水道企業団の経営基盤の強化を図るため、総務省の繰出基準に基づき、旧県営水道用水供給事業の広域浄水場の整備などに対して出資する。

イ 統合以外の広域連携【継続】 非予算

引き続き、水道企業団を含む県内水道事業者による職員研修の共同実施や、広域化やDXの取組等に係る情報交換会などを実施する。

② 下水道の広域連携

ア 新たな管理運営手法の導入【継続】（再掲） 非予算

事業環境の変化を踏まえ、今後の管理運営の見直し方針を策定し、その実行に向けて、流域関連市町等との調整や必要な準備を進める。

3 予算規模

○ 流域下水道事業会計 152.5億円（対前年 +3.1億円）
※収益的支出及び資本的支出の合計

○ 一般会計 16.7億円（対前年 ▲6.2億円）

- ・ 流域下水道事業への負担金 13.7億円（対前年 ▲1.6億）
- ・ 水道企業団への出資金等 3.1億円（対前年 ▲4.6億）

Ⅱ 令和6年度上下水道部当初予算総括表

課名	上下水道総務課
担当者	大島
内線	4310

1 流域下水道事業会計

(単位：千円、%)

区 分		令和5年度 当初予算額A	令和6年度 当初予算額B	前年度当 増 減 B-A	初 比 較 伸率B/A	備 考	
収 益 的 収 支	流域下水道事業収益	10,704,392	10,369,814	△ 334,578	96.9		
	内 訳	営業収益	7,240,879	6,903,010	△ 337,869	95.3	
		うち市町負担金	6,243,294	5,913,681	△ 329,613	94.7	維持管理費の減に伴う減
		営業外収益	3,463,513	3,466,804	3,291	100.1	
		特別利益	0	0	0	—	
	流域下水道事業費用	10,696,719	10,361,134	△ 335,585	96.9		
	内 訳	営業費用	10,483,743	10,165,346	△ 318,397	97.0	維持管理費の減に伴う減
		営業外費用	209,976	192,788	△ 17,188	91.8	支払利息の減
		特別損失	0	0	0	—	
		予備費	3,000	3,000	0	100.0	
収 支 差 引	7,673	8,680	1,007	113.1			
資 本 的 収 支	資本的収入	3,408,187	4,061,426	653,239	119.2	国庫補助金の増	
	資本的支出	うち建設工事費	2,934,635	3,701,816	767,181	126.1	改築更新工事の増
		収 支 差 引	△ 835,365	△ 830,225	5,140	99.4	
	支 出 予 算 額 計	14,940,271	15,252,785	312,514	102.1		

2 一般会計

(単位：千円、%)

区 分		令和5年度 当初予算額A	令和6年度 当初予算額B	前年度当 増 減 B-A	初 比 較 伸率B/A	備 考
一 般 会 計	土 木 費	2,291,968	1,670,460	△ 621,508	72.9	
	流域下水道事業会計負担金	1,517,448	1,361,950	△ 155,498	89.8	元利償還金の減による負担金の減
	水道企業団出資金	770,600	304,900	△ 465,700	39.6	令和6年度の広域化事業に係る国交付金の一部が、令和5年度に前倒し交付となることによる出資金の減
	水道企業団負担金	3,920	3,610	△ 310	92.1	

3 債務負担行為

(単位：千円)

区 分	限度額	期 間	備 考
流域下水道事業	1,563,455	令和7年度～令和8年度	芦田川浄化センター自家発電機設備更新工事等

Ⅲ 令和6年度上下水道部企業会計財務状況

課名	上下水道総務課
担当者	大島
内線	4310

1 予定損益計算書 (P/L)

(単位：千円)

科目	R5年度見込み(A)	R6年度見込み(B)	差引(B)-(A)
営業収益 A	6,658,944	6,350,759	△ 308,185
うち維持管理負担金	5,675,751	5,376,072	△ 299,679
うち一般会計補助金	839,283	828,284	△ 10,999
営業費用 B	9,913,445	9,622,087	△ 291,358
うち維持管理費	5,845,619	5,561,473	△ 284,146
うち減価償却費	4,052,730	4,044,505	△ 8,225
営業損益 C = A - B	△ 3,254,501	△ 3,271,328	△ 16,827
営業外収益 D	3,462,848	3,466,366	3,518
営業外費用 E	209,787	193,598	△ 16,189
経常損益 F = C + D - E	△ 1,440	1,440	2,880
特別利益 G	0	0	0
特別損失 H	0	0	0
当年度純損益 I = F + G - H	△ 1,440	1,440	2,880

2 予定キャッシュ・フロー計算書 (C/F)

(単位：千円)

科目	R5年度見込み(A)	R6年度見込み(B)	差引(B)-(A)
業務活動によるCF A	761,310	1,052,307	290,997
投資活動によるCF B	△ 399,560	△ 654,050	△ 254,490
財務活動によるCF C	△ 418,617	△ 168,935	249,682
現金及び預金の増減額 D = A + B + C	△ 56,867	229,322	286,189
現金及び預金の期首残高 E	2,074,906	2,018,039	△ 56,867
現金及び預金の期末残高 D - E	2,018,039	2,247,361	229,322

3 予定貸借対照表 (B/S)

(単位：千円)

科目	R5年度見込み(A)	R6年度見込み(B)	差引(B)-(A)
資産			
固定資産	121,860,968	121,232,947	△ 628,021
流動資産	2,504,099	2,709,447	205,348
資産合計	124,365,067	123,942,394	△ 422,673
負債			
固定負債	11,984,482	11,918,384	△ 66,098
流動負債	2,650,946	2,753,457	102,511
繰延収益	69,608,640	69,148,114	△ 460,526
負債合計	84,244,068	83,819,955	△ 424,113
資本			
資本金	11,404,409	11,404,409	0
剰余金	28,716,590	28,718,030	1,440
資本合計	40,120,999	40,122,439	1,440
負債資本合計	124,365,067	123,942,394	△ 422,673

課名	上下水道総務課
担当者	大島
内線	4310

IV 令和6年度上下水道部主要事業

事業名:	下水道インフラのマネジメントの推進
------	-------------------

目的

下水道施設の機能の維持・向上のため、ストックマネジメントにより更新投資の抑制・平準化を図りながら、健全度を踏まえた施設の改築・更新に取り組む。

また、大規模地震時においても、下水処理機能を確保し、県民生活への影響を最小化するため、計画的に施設の地震対策に取り組む。

事業内容

1 スtockマネジメントの推進

施設の計画的な点検・修繕による施設の長寿命化に取り組んだ上で、健全度を踏まえた機械・電気設備や管路施設の改築・更新を実施する。

(単位：千円)

区分	主な事業	今回予算額
処理場・ポンプ場施設	対象：汚水ポンプなど15施設 (新規) ・東部浄化センター・1系ポンプ棟脱臭設備更新(R6～R8) (継続) ・東部浄化センター・1系水処理設備更新(R5～R7) ・東部浄化センター・1系主ポンプ棟設備更新(R5～R8) ・芦田川浄化センター・中央監視設備更新(R5～R7) ・芦田川浄化センター・1系主ポンプ棟設備更新(R5～R8) ・芦田川流域・新浜中継ポンプ場設備更新(R5～R9) 等	2,243,559
管路施設	対象：芦田川幹線管路など2施設 (新規) ・芦田川幹線・管路更生(福山市曙町:1km) (R6～R7) (継続) ・沼田川幹線・マンホール改修(R4～R6)	414,735
計		2,658,294

2 地震対策の推進

大規模地震時においても、下水処理機能を確保するため、処理場のポンプ棟などの施設の耐震化を進める。

(単位：千円)

区分	主な事業	今回予算額
処理場・ポンプ場施設	対象：ポンプ棟など3施設 (継続) ・東部浄化センター・1系主ポンプ棟(R5～R7) ・芦田川浄化センター・流入水路(R5～R6) ・芦田川浄化センター・分水井(R5～R8)	522,968

成果目標（令和6年度末）

○ストックマネジメントの推進：施設の健全性の確保 ～ 健全度の低い施設ゼロを維持

○地震対策の推進：基幹施設の耐震性の確保 ～ 耐震化率（R4実績）46%（R6目標）62%

V 流域下水道事業概要図

(R6.1 現在)

